

## 2022 年 第 46 回 SL カートミーティング全国大会

2022 年 10 月 13 日  
大会事務局

公式通知 No.9

### スタート方法/フェアリングチェックについて

#### ■スタート方法

2022 年 第 46 回 SL カートミーティング全国大会の予選ヒート・決勝ヒートでは、コリドーレーンを使用したスタート判定は不採用とする。ただし、スタート時の隊列はコリドーレーンを基準に整え 2 列でスタートを行う。詳細は以下の通りとする。

- 1) スタート合図は赤 8 灯、オレンジ 2 灯の信号機とホームストレート延長線上にあるオレンジ 2 灯の信号機を使用する。
- 2) フォーメーションラップ終了時、ドライバーは 2 列で自分のポジションを保ち、低速を維持してスタートラインへ向かう。
- 3) フロントローのカートが 25m ライン（加速ライン）を通過するか、赤信号が消灯するまでは、加速は禁止される。
- 4) フォーメーションラップの隊列が整った場合、赤信号（8 灯）が消灯されスタートとなる。  
※赤信号（8 灯）が消灯した時点でレースはスタートされ、上記の規制は解除される。
- 5) フォーメーションラップで隊列が整っていない場合、オレンジ信号（2 灯）が点灯され、フォーメーションラップはさらに 1 周行われる。隊列をコントロールするフロントローのドライバーは、上記内容を十分理解し、隊列を安全に先導する義務がある。
- 6) 再度不正スタート（フライングなど）があった場合には、競技長はスタート進行を中断するか、もしくはスタート後にその旨を大会審査委員会に報告する。同委員会は不正を行ったドライバーに対しペナルティーを課す場合がある。
- 7) フォーメーションラップにおいて自分の前が空席の場合を除いて、前カートとの間隔を 1 / 2 車両以上空けてはならない。もし、このような状態からスタートを行い、アドバンテージを得た場合は不正スタート見となしペナルティーを課す場合がある。
- 8) スタート後、先頭の車両が 1 周するまでにスタートラインを越えない車両はそのヒートに出走することはできない。

#### ■フェアリングチェックについて

2022 SL カートミーティング車両規則第 3 章 5. に基づき、フェアリングチェックは 2022 年 JAF 国内カート競技車両規則第 9 条ボディワーク 5) フロントフェアリング③基準 C による CIK-FIA 公認フロントフェアリングが正しい装着状態で無い場合は、**タイムペナルティ 5 秒加算する**。また、これに対する抗議は認められない。